

講義名	中国語 B (グローバル)			授業形態	
担当教員	蘭 梅	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

### 主題と概要

この授業は、グローバル・スタディーズ・プログラム (GSP) に所属する学生を対象とした「中国語B」です。読む・書く・話す・聞くの4つの技能をバランスよく学び、中国語の基礎を身に付けることを目標とします。

授業では、毎回さまざまなトレーニングを行い、確実に中国語の力を養います。なお、GSPクラスの中国語授業は、1年以内に「日本中国語検定」4級に合格することを大きな目標としているため、ややハードな内容になることが予想されます。ですが、諦めずに粘り強く取り組むことが大切です。

また、この授業では、「中国語A (グローバル)」と同じ教材を使用し、リレー形式で進めていきますので、「中国語A」または「中国語B」のいずれかを1回でも欠席すると、その後の学習に支障をきたす恐れがありますので、十分注意してください。

### 到達目標

中国語検定準4～4級に合格することです。

- 4技能に関する到達目標
- 聞く：平易な日常会話を聞き、内容を理解できるようにする。
  - 話す：短文の質問と受け答えができるようになる。
  - 読む：200字以内の平易な内容の中国語を理解することができるようになる。
  - 書く：基本文型を応用して、簡単な自己紹介文を書くことができるようになる。

### 提出課題

毎回の授業時に、学習内容の理解状況を確認するため、トレーニング用のプリントの提出をもらい、次回にフィードバックを行います。また、毎週宿題のプリントも配布します。

### 課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバックの方法

提出した課題については、解説を行った後、受講者に自身の結果について確認させます。最後に、受講者に共通する問題点について、重点的に復習をします。

### 評価の基準

本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。

具体的な割合は：

- 平常点 (授業中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20%
- 中間テスト30%、期末試験50%

原則として授業に5回の欠席以上の場合は失格とします。

以上の記載については初回の講義の際に、教室で詳しい説明を行います。

### 履修にあたっての注意・助言他

外国語の授業は実践的なものであるため、声を出すことをいとわず、活発な取り組みを期待します。授業中の積極的な参加は大いに評価し、教科書の不備等はマイクがポイントとなります。また、GSPクラスでは夏休みや春休みの課題の提出状況も評価の対象となりますので注意してください。

### 教科書

.発音重視！中国語初級マスター22.	阿部慎太郎・紅粉芳恵・蘭梅	金星堂	2500	9784764707085
--------------------	---------------	-----	------	---------------

### 参考図書

.なし.				

### その他

### 授業計画

- 発音編 2. 子音・母音
  - 予習内容：発音編2の音声聞きながら発音の練習をすること (120分)
  - 復習内容：発音編2の音声聞きながら発音の練習をすること (120分)
- 発音編 4. 声調変化・声調の組み合わせ
  - 予習内容：年月日の言い方の発音と「あいまつ表現」の音声聞き、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：発音編4の音声聞きながら発音の練習をすること (120分)
- 第1課 自己紹介をする
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)
- 第2課 行き先を聞く
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)
- 第3課 雑談をする
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)
- 第4課 家族構成を聞く
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)
- 第5課 スケジュールを聞く
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)
- 前半総復習および理解状況チェックテスト
  - 予習内容：第1課～第5課の単語の習得を確認すること、各課の本文を音読し、リスニングを復習すること (120分)
  - 復習内容：習得状況チェックテストの結果を見直し、第1課～第5課の総合課題を完成すること (120分)
- 第6課 持ち合わせをする
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)
- 第7課 横内資を頼む
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)
- 第8課 SNSで連絡を取る
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)
- 第9課 進業内をする
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)
- 第10課 旅行計画を立てる
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)
- 第11課 趣味の話をする
  - 予習内容：本文の内容を理解し、音読の練習をすること (120分)
  - 復習内容：本文を音読し、暗記もすること、総合課題を完成すること (120分)

### 授業形態 (アクティブ・ラーニング)

ア：PBL (課題解決型学習)	<input type="radio"/>	イ：反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	<input type="radio"/>	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指す。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

本講義では基本的にICT活用をし、教室に備えているプロジェクターを使用し、音声はiPadとコードレススピーカーを使用します。文法説明や課題の答え合わせなどについてはすべてBigpadやプロジェクターで行います。また、QuizletやKahootなどのアプリケーションを利用して検定問題の単語及び文法についての習得状況の確認を行います。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験なし

### 備考

この科目は「中国語A (グローバル)」とリレー形式で行うため、学習者の習得状況により授業進度の調整を行うことがあります。